

平成31年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



6月号

梅雨の季節ですね！



6月に入り、雨の降る日が増えると、じめじめと蒸し暑い日もあったり、肌寒い日もあります。気候の変化に順応できなったり、食中毒に気を付けなければならない季節です。体調には気を配りつつ、「今日はどんな1日かなあ」と、日々の変化を楽しんでみましょう。

第1回 保護者交流会

教育相談に来られている保護者のみなさんとの交流を深めるために、保護者交流会を計画しております。

日時 令和元年7月2日(火)

10:00~12:00

対象 教育相談に来られている保護者

内容 保護者のお話 交流会

締切 6月28日(金)



サマースクール

日時 令和元年7月25日(木) 10:00~12:15

対象 教育相談に来られている幼児児童生徒及びその保護者

参加費 100円(保険料等)

締切 7月12日(金)

※子供さんは本校の先生と一緒に遊びます。

幼児用の浅いプールもあります。

プールで思いっきり遊びましょう！



創立記念日



6月10日(月)は本校の創立記念日です。明治38年(1905年)に左近充孝之進(さこんのじょう こうのしん)が私立神戸訓盲院として設立しました。以来、114年の歴史を持つ本校は、県内唯一の県立視覚特別支援学校として「創造」「自主」「独立」を校訓に個々のニーズに応じた視覚支援を行っています。

また、校内支援だけでなく地域の学校園に在籍する視覚障害の幼児・児童・生徒の学習を支援するセンター的な役割も果たすなど、校外に対しても支援の幅を広げています。

視覚障害者の世界

みなさんは買い物をする際、スムーズに財布からお金を取り出せていますか？支払いをする時にお釣りがあまり発生しないように硬貨を探しますよね。我々視覚障害者は目で財布の中の硬貨の種類と枚数を即座に確認できないため、手に取って目の前で視認したり、触察して確認します。硬貨の種類を色で区別する晴眼者の方は驚かれますが、特に10円玉と100円玉の大きさが同じであるため、区別が付きにくいのです。そのため、レジで支払う際に時間が掛かり、自分の後ろに行列ができてしまい焦ってしまいます。千円札などのお札だけで支払えば短時間で会計が済みますが、毎回お札で支払っていると財布が硬貨で重くなってしまいます。できるだけ財布の中の硬貨を減らして軽くしたいですね。どうすればうまくいくでしょう。そのための便利グッズを下に紹介します。

硬貨を種類別に整理できる財布やコインホルダーを使ってみましょう。例えば、日本ライトハウスで販売されている「コインケース」では、10円、50円、100円、500円の4種類の硬貨を仕分けできます。それぞれの硬貨の大きさに合った金属レールに差し込んで使用できます。また、わくわく用具ショップでは「コインホーム」が売られており、こちらは6種類の硬貨が仕分けられます。硬貨を触って分類する練習もやっておきましょう。

